

円の實力

1ドル100円時代は再び訪れるのか？

参加無料

定員300名

|申込不要|

2024

7/27

土

13:30-15:00 [開場13:00]

成蹊大学6号館401教室

歴史的な円安の進行により、日本円の實質価値は、1970年代の水準にまで低下していると言われています。この結果、日本の輸出企業の株価が上昇し、日経平均株価は4万円を超える高値まで上昇、反面、輸入品の価格上昇も続いています。円は再び1ドル100円まで上昇し、かつての価値を取り戻すことができるのか、そして、1ドル150円は、実際のところ、国際的に見てどの程度の實力であるのかを、国内外の有識者が講演します。

イベント詳細は
CAPS公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>



◆プログラム◆

開会挨拶・研究所紹介

基調講演

「円の實力：為替変動と日本企業の通貨戦略」



佐藤 清隆氏

横浜国立大学国際社会科学研究院教授、東京大学経済学博士、2019年度・第62回「日経・経済図書文化賞」受賞、近著に『円の實力：為替変動と日本企業の通貨戦略』（慶應義塾大学出版会、2023年）

講演

※使用言語:英語（通訳あり）

「日本経済の現状から見る円安要因（仮題）」



チェ・ジンホ氏

AMRO(Asean+3 Macroeconomic Research Office) 主席エコノミスト、インディアナ大学経済学博士、国際機関AMROにおいて「2022年日本経済サーベイランス・レポート」執筆責任者を務める。

講演

「ドル円相場展望～日米経済の動向と燃る円安リスク～」



立石 宗一郎氏

(株)日本総合研究所マクロ経済研究センター研究員
近著に「為替需給面の変化が円高を抑制」（『リサーチ・アイ』No.2024-0004）他

質疑応答・アンケート・閉会挨拶

【司会】

成蹊大学経済学部教授・アジア太平洋研究センター所長
成蹊大学リーディングリサーチャー
永野 護